

第7章 商業者に求められる今後の取組

1 環境保全への取組

今後、商業者が環境保全に対し取り組むべきことは、各項目とも前回（平成7年）を上回っており、中でも「牛乳パック・空き缶などの回収」の伸びが大きい。

全体としてみると、上位項目は「牛乳パック・空き缶などの回収」（前回23.0%から今回41.6%と+18.6%）、「簡易包装の徹底、ビニール製の買物袋廃止」（前回29.8%から今回40.6%と+10.8%）、「リサイクル商品の販売」（前回30.1%から今回39.5%と+9.4%）である（図表7-1-1参照）。

地区別でみると上位3項目は、順位の変動はあるものの同じ項目であり、中でも秩父地区での「牛乳パック・空き缶などのリサイクル」（57.5%）が、最も高い値である。

図表7-1-1 商業者が環境保全に対して取り組むべきこと（複数回答）（%）

項目 地区	簡易包装の徹底 ビニール製買物袋の廃止	リサイクル商品の販売	牛乳パック・空き缶などの回収	清掃・美化運動 植樹や鉢植えの設置	放置自転車対策	その他	無回答
1.京浜東北	41.3	39.0	40.8	20.6	18.7	2.0	5.0
2.東部Ⅰ	35.9	37.9	41.7	20.9	20.3	2.0	7.0
3.東部Ⅱ	40.1	42.2	40.7	21.0	12.7	1.6	6.0
4.西部Ⅰ	42.2	37.3	39.5	20.5	19.5	1.9	5.8
5.西部Ⅱ	45.3	39.5	42.8	16.7	15.4	1.6	6.0
6.北部Ⅰ	39.0	43.8	41.2	20.2	11.7	1.5	5.8
7.北部Ⅱ	38.0	42.2	43.9	21.2	9.1	1.6	7.7
8.秩父	38.5	43.2	57.5	13.9	4.6	2.7	5.6
県全体	40.6	39.5	41.6	20.0	16.9	1.9	5.8
平成7年 (前回)	29.8	30.1	23.0	15.9	—	—	1.3

(注) 平成7年調査は単一回答なので単純比較はできない。

2 高齢化社会への対応

今後、商業者が高齢化社会に対し取り組むべきことは、各項目とも前回（平成7年）を上回っており、中でも「配達などのサービス」の伸びが大きい。

県全体としてみると、「配達などのサービス」（前回 33.4%から今回 54.9%と+21.5%）、「少量販売やバラ売りなどの販売方法」（前回 28.6%から今回 44.5%と+15.9%）、「道路と店舗の段差解消や自動ドアの設置などの安全対策」（前回 29.2%から今回 39.7%と+10.5%）が上位を占めている（図表7-2-1参照）。

地区別でみると上位3項目は、順位の変動はあるものの同じ項目であり、中でも北部Ⅱ地区での「配達などのサービス」（63.7%）が、最も高い値である。

図表7-2-1 商業者が高齢化社会に向けて取り組むべきこと（複数回答）（%）

項目 地区	配達などのサービス	少量販売やバラ売りなどの販売方法	店内の改善 商品の陳列や値札の大きさなど	道路と店舗の段差解消や自動ドアの設置などの安全対策	高齢者との交流 コミュニケーションの機会の提供	その他	無回答
1.京浜東北	54.3	44.8	11.6	42.0	23.8	1.4	3.6
2.東部Ⅰ	52.7	46.0	11.5	40.2	23.1	1.2	5.1
3.東部Ⅱ	54.8	43.3	12.1	37.5	23.7	1.1	5.3
4.西部Ⅰ	54.3	44.5	11.4	41.7	22.5	1.2	4.3
5.西部Ⅱ	56.2	45.8	11.4	39.4	22.1	1.1	4.2
6.北部Ⅰ	56.3	41.7	13.1	35.8	24.3	1.1	4.6
7.北部Ⅱ	63.7	43.4	9.8	27.3	25.9	1.3	5.8
8.秩父	59.7	41.6	14.3	34.1	22.5	1.1	3.8
県全体	54.9	44.5	11.7	39.7	23.3	1.2	4.4
平成7年 (前回)	33.4	28.6	7.1	29.2	—	—	1.7

(注) 平成7年調査は単一回答なので単純比較はできない。